

例会報告

第2320回例会報告議事録

日時 25年12月10日(火曜日)

場所 ホテル マークワン 我孫子

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト: なし

ご挨拶

米田会長



星野会員のお顔が見れて非常にほっとしております。暑い時期から入院されていて退院され、例会に出て頂き本当に良かったです。何回かお家の方にお邪魔してお会いしたのですが、やっと例会に来られて、皆さんも一安心していらっしゃると思います。これから寒いですので、お身体に気をつけて頂きたいと思います。

新年会を1月7日に鈴木屋さんの方で6時半点鐘で行います。

次年度のカバナー補佐幹事は丸田会員を選任致しました。

次年度会長エレクトは瀧田会員、幹事エレクトは野田会員を選任致しました。

新入会員の件ですが、村越会員のご子息である村越孝一さんと、栗原前会員の第一富士交通さんの鎌田さんという女性の方の2名が鈴木会員、野田会員によりご推薦されています。

親睦委員会の方で、劇団四季の観劇が大変楽しかったと言うご報告を頂いています。

親睦委員会報告

野田会員(代理)

特にございません。

出席報告

丸田会員(代理)

20名出席(全員で25名) 出席率80%

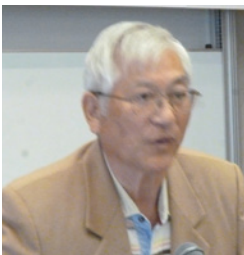
幹事報告

鈴木会員(代理)

特にございません。

近況報告

星野会員



米田会員が会長になる少し前に家で倒れまして、緊急入院したところ、すぐ手術をしないと死んでしまうとのことで緊急手術をしてもらいました。肺血栓梗塞による呼吸困難でした。うちの家内は呼ばれて、明日、葬式の準備をした方がいいんじゃないかと言われたそうです。私は意識もあるし、先生と話しもでき、ただ苦しいだけだから一旦帰って又来ますよと言ったら、とんでもないと怒られました。よく生きていたな、体力があったから生きていたんだ、この状態だったら普通は死んでるよという話でした。それから一ヶ月、血栓を溶かす薬を飲んだりしました。退院する時に、コーヒーを飲んでもよいかと聞いたら「(薬が効かなくなるから)と

んでもない」と言われ、お酒はほどほどに、との事でした。約6ヶ月間、家で静養しながら散歩をしたりしていました。ところが1ヶ月もベッドで寝ていたので足がガタガタでした。今でも下手するとずっこけます。皆さんには色々お見舞い等頂き、ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
井上会員	市民クリスマス無事終了しました。	1,000円
上村晃一会員	卓話をさせて頂きました。	2,000円
星野会員	お礼	10,000円
丸田会員	星野さん、おめでとうございます。	1,000円
当日計		14,000円
今期累計		226,550円



私は建設関連の家に生まれ、三代目です。
 現在、建設業界がここ20年、非常に不況であることを表を使いまして説明させていただきます。

1970年から平成8、9年の間に日本の公共投資を含め建設投資額が84兆あったのが、平成24年度には約半分になりました。半分になるということは、実際の工事はゼロか四分の一になるわけで、今まで50年建設業界に携わっていますが、これほど極端に下がったことはありません。

戦争に負けて、日本の人口は約6千万人だったのが、50年後には1億2千万人になりました。爆撃でやられた各都市の都市整備、家等の建設の為に建設業はものすごい勢いで必要でしたが、それが一段落ついた為に、こういう数字になっていると思います。

建設業の就業者数はここ15年位の間に180万人減っています。

銀行の金利政策、公共投資という二つの道具で日本の景気の調整を図っていましたが、その原因の大きなひとつである出稼ぎ労働者の数が15年以上前には約55万人いたのが現在はその40分の1近くの1万5千人に減りました。

今評判になっている東京都の市場の入札は4百4、50億の予算ですが、応札者がいません。練馬区かどこかの社会複合施設が44億5千万くらいの予算がどうにもならず、最終的に74億で応札したそうです。

これからオリンピックに間に合うかどうか問題になっています。私が大学を出て、最初の工事が東京オリンピックの工事で、2年くらいは正月の2、3日以外はほとんど休み無しで現場監督をやった経験があります。東北の復興もほとんど応札者がいない状態の中でなかなか進んでいません。非常に厳しい政策が取られると、一つの産業が減びるという大きな典型だと思います。

私は景気調整弁のように景気対策をずっとやってきた為に、政府の政策等には非常に敏感になっており、TPPや米の問題にも関心があります。そんなもん、おまえには関係ないじゃないかと言われますが、そういうこと全てが私達の仕事からできます。

我孫子や千葉県だけでなく新潟でも工事をやっていて、表日本と裏日本の景気の見方だとかに敏感になります。政策によって振り回され、どう生きるかという術を自然に会得したような気がします。

現場監督のちょっとした見落とし等に対しては厳しく注意します。後で大怪我になったり、雨漏りになったりするわけで、厳しい中で耐え抜いてきたものが生き残っているのだと思います。まあまあ、ではダメで、徹底的に直してもらわないと建設業では最終的に皆さんに迷惑をかけることになり、非常に致命傷になります。そういう所を徹底して来たのが、なんとか今まで持っていた大きな原因ではないかと思っています。

ロータリーの運営についても厳しく言い過ぎることがあり反省しているのですが、長年の商売柄、妥協はできないという事が影響していると思います。

28歳の時に初めて我孫子に来て、33歳でロータリークラブに入れて頂きました。みんなが良くならなければだめなんだと教わりました。最初は意味がわからなかったのですが、段々わかるようになりました。

建設業界で有名なのは談合問題ですが、それは建設業界

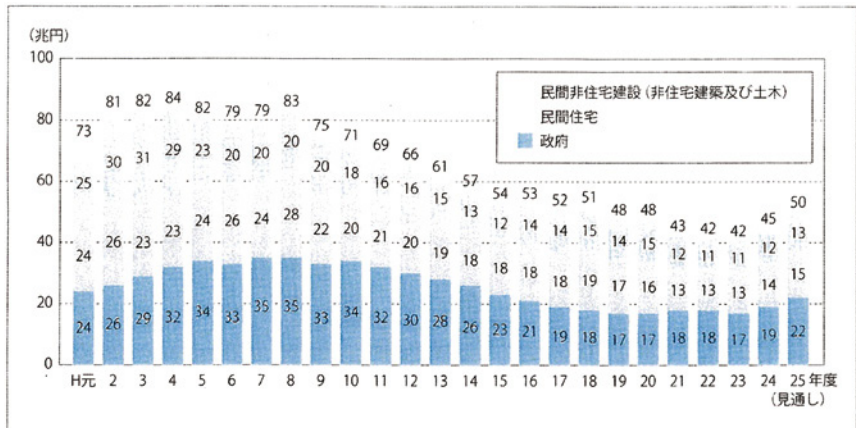
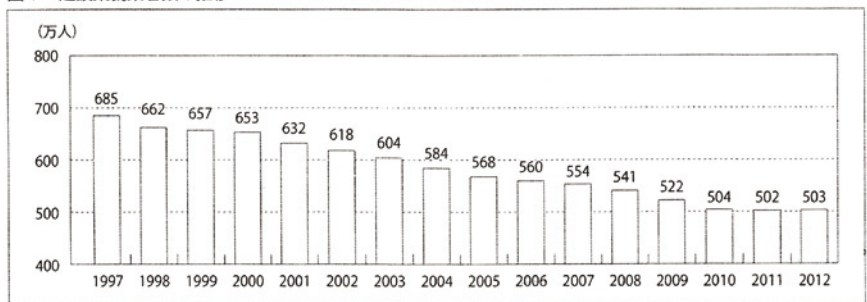


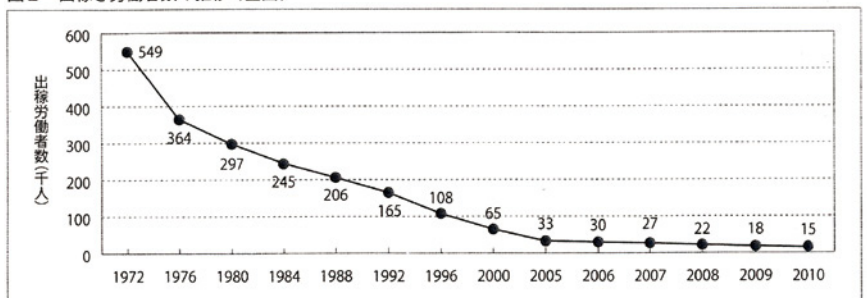
図1 建設投資額(名目値)の推移

図1 建設業就業者数の推移



資料出所：総務省「労働力調査」

図2 出稼ぎ労働者数の推移(全国)



資料出所：厚生労働省資料

だけの問題ではありません。米の値段は国が決めており、極端に言えば官製談合です。タクシー料金も銀行の振込み料や金利も一律です。我々が気がつかない所で規定されています。ひとつの政策によって産業構造が変わります。大型店舗の規制がなくなるとシャッター街になりました。私も談合では新聞にも出されるくらい叩かれました。

10億の仕事を受けますと、その地域にその3倍以上の経済効果が出て来ます。そういう意味で公共投資というのは景気に非常に影響があります。

日本の建設は建築工事・土木工事という分け方や、民間工事・官庁工事という分け方があります。日本の建築工事は60～65%、土木工事は30～35%の比率になっています。土木工事は公共工事が主体です。建築工事は民間が7割位、官庁が3割位です。その民間工事の内、住宅の比率は65%位です。戸建てよりマンションの比率が多くなっています。建設業界の形態として、住宅建設というのは景気に左右される大きな要素です。

建物の建設についてですが、坪50万とか80万とか色々言われますが、なぜそんなに変わるのか疑問に思う方もいらっしゃると思います。例えば木造の場合、一軒二軒の単位になります。材料はみんなその長さで市販されています。例えば建具は、合板は昔の日本の単位になっていますが、これを1メートル版の材料として使うと無駄になります。特注品で作ると高くつきます。そういうことがわかっている人に設計してもらわないと材料も部品も無駄が出ます。

建設では色々な種類の金属を使いますが、気をつけなければいけない事があります。水道管のガス管というのがありますが、たまたま電線の切りくずが土の中に埋まっていて、配管の上に乗っていて、冷えると結露した水がたまり銅が溶け、銅イオンが出ると配管が解けて穴があいていた事がありました。アルミは鉄とくっつける時は必ず間にゴムを入れないと鉄が溶けて来ます。

木の性質というものもあります。けやきの木はあばれます。ドイツでは、鋳物本来の狂いが出るまで、でかい鋳物を何年か庭に置いて錆びさせるそうです。日本は鋳物を作ったらすぐに製造するので、だめになるそうです。

役に立ったかわかりませんが、以上で終わります。ありがとうございます。

Q. 建設業界の下請けの人達の保険についてですが、全員保険に入らないと大きな工事に携われないにもかかわらず、入ると倍かかるので入れないという問題があります。その辺はどう思われますか。

A. 業界団体というのがあり、国の団体やそういうものに入っていないと入札もできませんが、それ以前に入札すらできないことが多いです。保険の心配より、生き延びるのにどうするか、という考えになると思います。

Q. 何が原因で人が足りなくなっていると思いますか。

A. この業界で食って行けるかと考えると、若い人は建設業界に入って来ないわけです。DIYというのがありますが、そういう風に自分でやらないと、ますますこれから難しくなってくると思います。外国でもサッチャーさんも自宅の天井は自分でペンキを塗っているそうです。

閉会の言葉

米田会長

上村晃一会員、ありがとうございました。ペンキはどうぞ米田塗装店の方によるしくお願い致します。

上村晃一会員のご息子が私の後輩の先輩なのですが、12日の木曜日に千葉テレビのビジネススタイルという番組(21:55~22:00)に出られるそうです。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。